

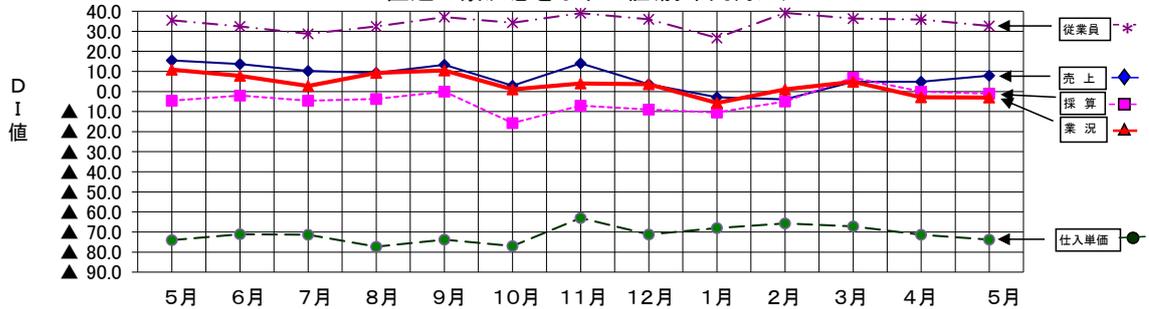
早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 5月分

【5月の概要】 長期化する円安の影響で原材料高騰が続く傾向 慢性的な人手不足・採用難と相まって、全体的に厳しい経営状況が続く

直近の景況感を示すDI値は、「売上」が3.0ポイント、「従業員」が3.2ポイント改善した。「採算」が1.0ポイント、「業況」が0.1ポイント、「仕入単価」が2.4ポイント悪化した。5指標中3指標でわずかであるが悪化を示した。「仕入単価」は4か月連続で悪化しており、先行き見通しを示すDI値では、10.8ポイントの大幅な悪化を示している。

コメントからも、長期化する円安の悪影響が読み取れる。DI値では改善を示しているが、慢性的な人手不足や新卒採用に苦しむ声も引き続き寄せられている。一方、リニューアル後の新潟駅は賑わいを見せており、今後も駅周辺の活性化に期待する声が多い。

直近の景況感を示すDI値(前年同月比)



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰)
(Diffusion Index の略)

	2023年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2024年5月
売上	15.5	13.7	10.2	9.3	13.3	2.9	14.0	3.6	▲ 2.9	▲ 3.9	4.9	4.9	7.9
採算	▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 4.6	▲ 3.7	0.0	▲ 15.7	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 10.5	▲ 4.9	6.9	0.0	▲ 1.0
業況	10.9	7.8	2.8	9.3	10.5	1.0	4.0	3.6	▲ 5.7	1.0	4.9	▲ 2.9	▲ 3.0
仕入単価	▲ 74.1	▲ 71.1	▲ 71.3	▲ 77.3	▲ 73.8	▲ 77.0	▲ 63.0	▲ 71.2	▲ 68.1	▲ 65.7	▲ 67.2	▲ 71.4	▲ 73.8
従業員	35.5	32.4	28.7	32.4	37.1	34.3	39.0	36.0	26.7	39.2	36.3	35.9	32.7

- ・プラス幅が増加したDI値：売上3.0ポイント
- ・プラス幅が減少したDI値：従業員▲3.2ポイント（需給均衡局面へ）
- ・マイナス幅が増加したDI値：採算▲1.0ポイント、業況▲0.1ポイント、仕入単価▲2.4ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
3月	15.7	6.9	5.9	▲ 47.1	30.4
4月	7.8	1.0	3.9	▲ 44.7	39.8
5月	11.9	0.0	4.0	▲ 55.5	35.6

- ・見通しが改善したDI値：売上4.1ポイント、業況0.1ポイント、従業員▲4.2ポイント（需給均衡局面へ）
- ・見通しが悪化したDI値：採算▲1.0ポイント、仕入単価▲10.8ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	建築工事	円安のため、燃料が高騰し経営が苦しい。
	ゼネコン	人手不足、特に技術者採用は慢性的に厳しい。
製造業	製菓	想定以上の円安で、再度輸入原料の値上げ要請を受けている。
卸売業	食肉	物価上昇に加え、労働時間短縮のために注文時間を減らしたことで売上は減少。
	コーヒー	新潟駅リニューアルオープンに期待する。
小売業	ホームセンター	物価高は一服しつつあり、賃金の上昇が見込まれば耐久消費財の需要も回復してくると予想。
サービス業	飲食	4月1日より値上げを実施。客単価上昇で増収も見込めるが、今後の人件費増を吸収していけるかはわからない。
	タクシー	新潟駅周辺の賑わいは際立っている。駅周辺並びに万代町付近の二極化で新潟島は益々低迷するように思える。
	運輸	人手不足が深刻化しており、特に大都市圏が厳しい。協力会社も人手不足のため、配送撤退の申し入れがきている。
情報処理サービス		懸念された人件費アップと価格交渉はほぼ予定通り。一方、新卒採用は依然として厳しい状況。